

# 第58回

## 日本無菌生物 ノートバイオロジー学会総会

### 日程と抄録

#### PROGRAM & ABSTRACTS

The Fifty-eighth Annual Meeting of  
The Japanese Association of Germfree Life and Gnotobiology

January 24 - 25, 2025  
Fujisawa

President      *Akira Hosono*

会 会 会	長 期 場	細野 朗 2025年(令和7年)1月24日(金), 25日(土) 神奈川県藤沢市亀井野 日本大学生物資源科学部
-------------	-------------	---

## お知らせ

1. 一般演題の演者と共同発表者は本学会員であることを要します。未入会の方は学会事務所または総会当日の受付へお申し込み下さい。
2. 参加受付は会場入口受付にて 1月24日(金) 11:50、1月25日(土) 8:40 から行います(会場:日本大学生物資源科学部2号館・211講義室)。
3. 参加費は正会員 7,000円、学生会員 1,000円です。懇親会費は 3,000円です。会場受付でお支払いの上、お渡しする名札を胸にお付け下さい。
4. 記念写真は1月24日(金)シンポジウム終了後に撮影します。会場にいらっしゃる方全員のご参加をお願いします。機関誌「無菌生物」に氏名表をつけて掲載します。懇親会で大型プリントを回覧しますので、お名前を書き入れて下さい。
5. 情報交換会(懇親会)は1月24日(金) 17:40から本館GF階「オリビア」にて行います。ぜひご参加ください。
6. 一般演題は1題につき発表8分、質疑応答2分です。時間厳守をお願いします。
7. プレゼンテーションはパソコンと液晶プロジェクターにて行います。USBメモリでファイルをご持参ください。その場合にはWindows 10(Microsoft Office 2016)以降、Microsoft Power Point とさせていただきます。またMacの場合は、大会事務局にご連絡ください。
8. 質疑、討論される際には、所属と氏名を明らかにしてください。
9. 「佐々木正五賞」は一般演題の中から優秀演題を選考します。授与は1月25日(土)テクニカルセミナー終了後に行います。
10. 発表の方は、機関誌「無菌生物」にプロシーディングとして掲載する原稿を受付または学会事務所へ2月14日までにご提出下さい。原稿執筆規定は、本冊子末尾に掲載されています。データの入ったCDとA4プリント1部を提出してください。(原稿のご提出のない場合は本冊子の抄録を印刷します。)

# 第 58 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会

会 長：細野 朗（日本大学）

会 期：2025 年（令和 7 年）1 月 24 日（金），25 日（土）

会 場：日本大学生物資源科学部

（〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866 TEL：0466-84-3801）

理事・評議員会 : 2 号館 2F 会議室 1

特別講演、シンポジウム、一般講演など : 2 号館 1F 211 講義室

記念写真撮影 : 2 号館 1F 211 講義室

情報交換会 : 本館 GF オリビア（カフェテリア）

日 程：

1 月 24 日（金）

10:00 11:00 12:00 12:10 13:10 14:00 16:30 16:40 17:20 17:40 19:00

常 任 理 事 会	理 事 ・ 評 議 委 員 会	開 場	開 会 の 辞、 総 会	一 般 演 題 I	シ ン ポ ジ ウ ム	休 憩	特 別 セ ミ ナ ー	記 念 写 真 撮 影	情 報 交 換 会
-----------------------	--------------------------------------	--------	-----------------------------	-----------------------	----------------------------	--------	----------------------------	----------------------------	-----------------------

1 月 25 日（土）

8:40 9:00 10:00 11:00 11:50 12:10

開 場	一 般 演 題 II	特 別 講 演	テ ク ニ カ ル セ ミ ナ ー	佐 々 木 正 五 賞 授 与 閉 会 の 辞
--------	------------------------	------------------	---	--

連絡先：

総会会長 〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866 日本大学生物資源科学部

第 58 回日本無菌生物ノートバイオロジー学会総会 細野朗

TEL：0466-84-3985 FAX：0466-84-3983

E-mail：brs.jagg58@nihon-u.ac.jp

学会事務所 〒210-0821 神奈川県川崎市川崎区殿町 3-25-12

公益財団法人 実中研

日本無菌生物ノートバイオロジー学会事務所

小倉智幸

TEL 044-201-8520 Fax 044-201-8521

E-mail：jagg@ciea.or.jp

# プログラム

1月24日(金)

- 10:00-11:00 常任理事会 (2号館 2F 会議室 1)
- 11:00-12:00 理事・評議委員会 (2号館 2F 会議室 1)
- 12:00- 受付開始 (2号館 1F 211 講義室)
- 12:10-13:10 開会の辞 会長  
総会議事

13:10-13:50 一般演題 セッション I  
座長: 大崎 敬子 (杏林大学)・細野 朗 (日本大学)

- 慢性鼻腔炎症に誘発される鼻腔細菌叢・腸内細菌叢のディスバイオーシス  
○今井 龍一<sup>1</sup>、小牧 すずほ<sup>1</sup>、大崎 敬子<sup>3</sup>、石井 さなえ<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>杏林大学大学院保健学研究科, <sup>2</sup>杏林大学保健学部臨床検査技術学科,  
<sup>3</sup>杏林大学医学部感染症学教室)
- 加齢性腺機能低下症モデルラット精巢のテストステロン産生に対するビタミンK投与の影響の解析  
○村上 瑠<sup>1</sup>、伊藤 暉<sup>1</sup>、大崎 雄介<sup>1</sup>、前川 正充<sup>2</sup>、Afifah Zahra Agista<sup>1</sup>、白川 仁<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>東北大学大学院農学研究科栄養学分野、<sup>2</sup>東北大学病院薬剤部)
- 血中の腸内細菌反応性 IgG2b 抗体誘導に対する腸内細菌叢の影響  
○岡田 開<sup>1</sup>、津田 真人<sup>1</sup>、平山 和宏<sup>2</sup>、細野 朗<sup>1</sup>  
(<sup>1</sup>日本大学生物資源科学部、<sup>2</sup>東京大学大学院農学生命科学研究科獣医公衆衛生学)
- ビフィズス菌による幼少期のマウスの攻撃行動への影響  
○花輪 球太<sup>1</sup>、渡邊 己弦<sup>2</sup>、津川 仁<sup>3</sup>、三上 克央<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>東海大学医学部医学研究科先端医科学、<sup>2</sup>東海大学医学部総合診療系精神科学、  
<sup>3</sup>東海大学医学部医学科基礎医学系生体防御学)

14:00-16:30 シンポジウム 「生物の誕生から成長・老化まで微生物が  
関わる生体応答を紐解く」  
座長: 野地 智法 (東北大学)・津田 真人 (日本大学)

- 乳幼児の腸内におけるビフィズス菌の定着メカニズムと免疫学的役割  
小田巻 俊孝  
(森永乳業株式会社 研究本部 基礎研究)

2. 母乳免疫の機能形成に関わる分子・細胞メカニズム

野地 智法  
(東北大学大学院農学研究科 食と農免疫国際教育研究センター)

3. 加齢に伴う IgA を介した宿主と腸内細菌叢のクロストークの破綻

河本 新平  
(大阪大学微生物病研究所)

4. Gut-bone axis —消化管アレルギーモデルを利用した骨代謝の調節に対する腸内細菌の役割の解析

足立 (中嶋) はるよ  
(東京大学大学院農学生命科学研究科免疫生体機能研究社会連携講座)

5. 腸内細菌の共生と腸管上皮細胞に対する作用

高橋 恭子  
(日本大学生物資源科学部)

16:40-17:20 特別セミナー

座長: 白川 仁 (東北大学)

「生体内イメージングによる免疫応答の可視化」

戸村 道夫  
(大阪大谷大学・薬学部・免疫学講座)

17:25-17:40 記念写真撮影 (2号館 1F 211 講義室)

17:40-19:00 懇親会 (本館 GF オリビア (カフェテリア))

1月25日 (土)

9:00-9:50 一般演題 セッションII

座長: 岡 健太郎 (ミヤリサン製薬)・津田 真人 (日本大学)

5. ラットにおけるビタミン K 欠乏症の発症に対する性差の解析

○丹野 雄大<sup>1</sup>, 大崎 雄介<sup>2</sup>, 駒井 三千夫<sup>2</sup>, 白川 仁<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>東北大学農学部栄養学研究室, <sup>2</sup>東北大学大学院農学研究科栄養学分野)

6. ケルセチン代謝分解性ノトバイオートマウスの血漿ケルセチンに及ぼすフラクトオリゴ糖摂取の影響

○田村 基<sup>1</sup>、平山 和宏<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門、  
<sup>2</sup>東京大学大学院農学生命科学研究科)

7. 無菌マウス体内における *Helicobacter pylori* の生態と形態について

○北条 史<sup>1</sup>、大崎 敬子<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>杏林大学大学院医学研究科共同研究施設部門実験動物施設部門、  
<sup>2</sup>杏林大学医学部感染症学教室)

8. 酪酸菌およびフィターゼ配合飼料添加物の長期給与による肥育豚の飼養成績への影響

○鈴木 祐輝<sup>1</sup>、平田 真樹<sup>2,3,4</sup>、吉田 知加<sup>1,3</sup>、有吉 理<sup>1</sup>、  
岡 健太郎<sup>1,3</sup>、高橋 志達<sup>1,3</sup>、森松文毅<sup>3,4</sup>  
(<sup>1</sup>ミヤリサン製菓株式会社 研究開発本部、<sup>2</sup>徳島大学 バイオイノベーション研究所、  
<sup>3</sup>徳島大学 動物生産技術共同研究講座、<sup>4</sup>徳島大学 生物資源産業学部)

10:00-10:50 特別講演

座長：細野 朗  
(日本大学)

「腸管内 microbiota・胆汁酸・食物繊維などの腸内容物と腸上皮細胞の動態に関する研究」

駒井 三千夫  
(東北大学大学院農学研究科栄養学分野、(株)東北アグリサイエンスイノベーション)

11:00-11:50 テクニカルセミナー

座長：大崎 雄介  
(東北大学)

1. 無菌動物とそのヒト腸内菌叢研究への応用

平山 和弘  
(東京大学大学院農学生命科学研究科獣医公衆衛生学教室  
／附属食の安全研究センター)

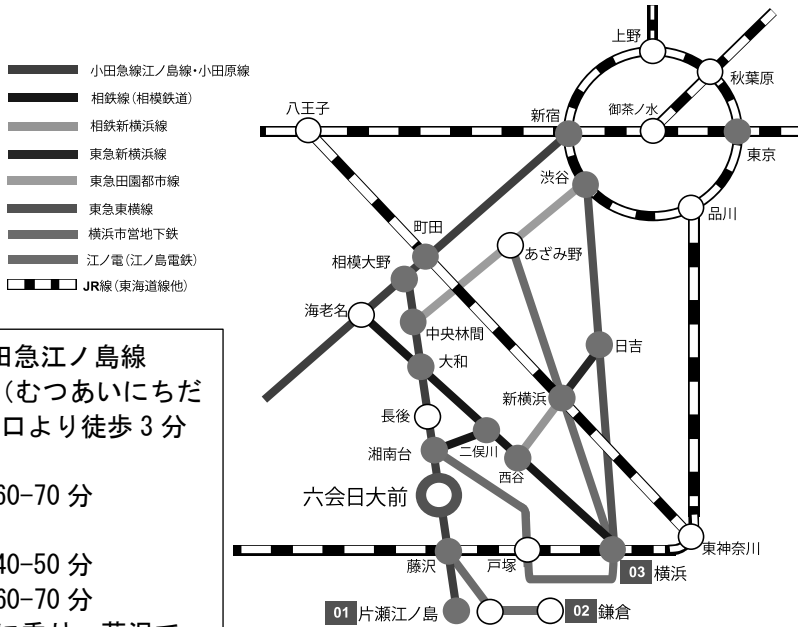
2. 無菌動物飼育技術の整備と新たな実験手法への応用

小倉 智幸  
(公益財団法人 実中研)

11:50-12:00 「佐々木正五賞」表彰 閉会の辞

# 会場ご案内

会場：日本大学生物資源科学部 〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866



**最寄り駅：小田急江ノ島線**  
**「六会日大前（むつあいになだいまえ）」駅西口より徒歩3分**

- ・新宿から約 60-70 分  
(小田急線)
- ・横浜から約 40-50 分
- ・東京から約 60-70 分  
(JR 東海道線に乗り、藤沢で小田急江ノ島線に乗換え)

